

平成 29 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	若生まなびや館（浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設）	
指定管理者	名称	若生まなびや館管理組合
	代表者	組合長 金崎 和人
	住所	浜田市金城町波佐イ 998 番地 5
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、事業報告書の確認、実地検査、指定管理者へのヒアリング等により行いました。その後、事業計画書に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等について確認した上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」等を記入しました。	
担当部署 (問合せ先)	部署名	教育委員会 金城分室 教育振興係
	電話番号	0855-42-1237
	E-mail	k-kyouiku@city.hamada.lg.jp

■ モニタリングの総合コメント

本施設は、平成 18 年 4 月から指定管理者制度を導入し、施設管理に関しては、若生まなびや館管理組合が受付から施設の設備の管理、各種事業、イベント等の計画、実施までを行っています。これまで、利用者が安全な環境のもとで利用できるよう日常的な点検を実施し、施設等の不具合の発見時は、速やかに補修するなど適切な対応、保全に努めています。

利用状況については、広島からの利用者をターゲットとし、広島 PR センターとの協力関係を維持すると共に、礼状等によるリピーターの確保に努めています。「梅狩り・山菜料理を楽しむ会」など、春のイベントを企画し取組んだことで、昨年度と比較し春時期の利用者は増加しましたが、7 月の豪雨災害以降、自然体験イベントが実施出来なくなり、利用者・収入とも大幅に減少しました。

なお、指定管理者は、引き続き各種イベント等の企画運営を行い、利用者増を図っていますが、従事者の高齢化等により運営が困難な状況が継続しており、抜本的な対策が求められます。総合的に判断し「良好」と評価しました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

これまで、指定管理者である管理組合への譲渡を施設方針とし、協議を進めてきましたが、過疎・高齢化が進行していく中においては、管理組合としても譲渡を受けにくい状況となっています。

将来に渡る施設の設置目的を維持していくため、管理運営体制の検討とあわせ、譲渡に限定しない弾力的な運用についても検討を進める必要があります。その結論を得るまでの間については、引き続き、施設の保全管理及び利用促進のための PR 活動を積極的に行うなど、利用者増加のための各種事業を実施するよう、より一層の努力を期待します。

■個別評価

I 基本的な考え方
① 目的、公平性、効果等への所見
条例、規則及び協定書に基づき、施設設置目的に沿って適正に管理運営が行われています。 また、同施設の利用者が、安全・安心で快適に利用できるよう、環境整備やサービスの向上に努めるとともに、公正で公平な利用の確保が図られています。
II 業務内容
① 事業への具体的取り組み方について
少ない人員を有効に活用し、施設利用者への「おもてなしの向上」に努めています。地域の自然環境を活かした、「ヤマメの掴み取り」や「沢登り」等の自然体験教室をメニュー化し継続実施しています。 春のイベントとして、「梅狩り」や「山菜料理を楽しむ会」などの企画を行い利用者の拡大を図っています。 また、広島 PR センターとも連携を図ることで、都市部と農村部との人口交流の拡大に努め、広島県からの利用者の呼び込みを行っているほか、過去の利用者に対して手紙を送付するなど、リピーター確保にも努めています。 さらに、地元の営農法人「ひやころう波佐」と協力し、各種イベント時に施設や地域の PR を行っています。
② 施設の運営体制や組織について
施設管理運営スタッフ（非常勤）として、地元住民 20 人を管理組合事務局が各種事業実施にあわせ、調整し配置しています。 役員体制については、組合長 1 人、副組合長 2 人、理事 2 人、事務局 1 人、会計 1 人、監事 2 人となっています。
③ 適切な事務や経理について
条例及び規則等の法令を遵守するとともに、仕様書等に基づいて適正な事務手続きがなされており、経理面においても適切に処理されています。
④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について
危機管理マニュアル（緊急時、防災時の対応等）や緊急連絡網が整備されており、緊急時等の対応に万全を期しています。 情報管理については、業務上知り得た個人情報、本施設の運営のみの使用に限定し、施錠可能な事務室内において保管しています。
⑤ その他業務内容について
現指定管理者は、地域内の他団体等が行う各種イベント等に積極的に参加し、団体同士の連携の強化を継続的に図っています。

※ 「施設概要及び実績報告書」は別紙のとおり

〔別紙〕

施設概要及び実績報告書

1 施設概要

施設名	若生まなびや館（浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設）	
所在地	浜田市金城町波佐イ 998 番地 5	
開設年月	平成 15 年 4 月	
設置条例	浜田市旧若生分校校舎再活用地域間交流施設条例	
設置目的	自然環境に恵まれた地域の資源を利用して都市との地域間交流を図り、もって地域の活性化に資するため。	
施設の概要	敷地面積	965.28 m ²
	延床面積	宿泊棟 105.24 m ² 体験準備棟 18.00 m ² 機械棟 4.96 m ²
	施設内容	宿泊室 廊下 体験準備室 トイレ 機械室
	事業内容	① 地域間交流のための利用に供する事業 ② その他設置目的にふさわしい事業

2 運営実績

項目	H28 実績	H29 計画	H29 実績
開館日数	25 日	21 日	14 日
開館時間	8 : 00 ~ 17 : 00	8 : 00 ~ 17 : 00	8 : 00 ~ 17 : 00

3 利用実績

項目	H28 実績	H29 計画	H29 実績
延べ利用者数	393 人	300 人	188 人
（うち宿泊）	29 人	100 人	18 人
（うち休憩）	364 人	200 人	170 人
利用料金収入	184,500 円	250,000 円	106,100 円

4 収支実績

(単位：円)

収入

項目	H28 実績	H29 計画	H29 実績
利用料金収入	184,500	250,000	106,100
自主事業収入	478,900	600,000	74,400
雑入 (貯金利息、助成金等)	76,022	50,000	125,008
収入計 (A)	739,422	900,000	305,508

支出

項目	H28 実績	H29 計画	H29 実績
人件費	12,000	45,000	0
賃金	12,000	15,000	0
報償費	0	10,000	0
旅費	0	10,000	0
研修費	0	10,000	0
管理費	416,229	435,000	391,180
消耗品費	19,855	20,000	19,677
光熱水費	182,747	180,000	183,734
通信運搬費	33,383	30,000	33,328
手数料	4,500	10,000	5,025
洗濯代	27,000	30,000	3,300
保険料	35,140	30,000	34,380
委託料	108,000	110,000	108,000
負担金	0	5,000	0
租税公課	0	5,000	0
備品購入費	5,604	15,000	3,736
事業費	228,186	360,000	25,083
自然体験事業等	228,186	360,000	25,083
その他	48,561	60,000	46,467
総会費	48,561	60,000	46,467
支出計 (B)	704,976	900,000	462,730

収支差引 (A-B)	34,446	0	▲157,222
-------------------	---------------	----------	-----------------